

父母と教師の会会報



葵

第79号

発行：平成30年11月1日
 福島県立葵高等学校
 父母と教師の会
 会津若松市西栄町4-61
 TEL (0242) 27-5461
 発行者 渡部 美枝子
 編集者 磯貝 太

会津が大好きゲイリー先生がゆく



ゲイリー先生は英語指導助手として葵高校で教えはじめ、はや一年と少しが過ぎました。主に一年生のクラスで、日本人の先生と一緒に英語の授業をしています。大学入試制度も変わろうとしている中、「聞くこと」「話すこと」がますます求められている英語教育で先生は大きな力になっています。

先生はいつも陽気で、授業中はおちろん、昼休み、掃除の時間も校内を歩き回り積極的に生徒に話しかけています。英語が好きになったという生徒もたくさんいるということです。

今年は会津まつりの行列に参加するなど、会津にもたくさん来ています。

Q お生まれはどこですか？
 A アイルランドのレターケニーというところです。アイルランドの北の方です。アイルランドはハロウィーン発祥の地であり、自然豊かな土地です。母校の高校は歴史のある学校です。(透し写真)

Letterkenny



Q ご家族やスポーツは？
 A 両親と兄と姉がいます。父と兄は会計士です。アイルランドにも伝統的なスポーツがあります。私はサッカーが好きです。

Q 葵高校の生徒をどう思いますか？
 A 葵高校の生徒はとても一生懸命に勉強をし、尊敬すべき生徒たちです。葵高校の生徒は好感がもてます。先生と生徒の関係もとても良好だと思います。アイルランドや他の

西洋の国では、町のなかで会ってもお互いに挨拶することはありません。

Q 会津や福島県をどう思いますか？
 A 会津、福島県がとても好きです。最初は一年間しかいる予定はなかったのですが、三年間いることにしました。会津若松は大変いいまちです。そして静かで平和です。日本の誇りや文化を代表しているところだと思います。たくさんすばらしい人たちと出会い、ここを自分のふるさとだと思っています。

Q アイルランドと学校のシステムの違いは何ですか？
 A アイルランドには中学校、高校はなく五年、六年制の合わせた学校があります。学年末には数週間つづく試験があります。この試験で成績がきまり、どの大学に行くかが決まってしまうんです。この試験は生徒にとっては大きなプレッシャーであり日本のシステムはずつといいと思っています。

Q 日本に来てもつとも印象的な出来事は何ですか？
 A 日本人はとても親切で、尊敬すべき人たちであるという

ことです。とてもいい国であるという評判が世界中に広がっています。自分の故郷のように感じ日本の将来を期待したいと思っています。

Q 好きな日本語を教えてください。
 A 「何でもいい」です。このことばはどんな状況にも対応でき、トラブルも避けることができます。私の生き方もこれです。



広報委員会のメンバーと自撮り



「会津まつり」で